

■次年度への引継ぎについて

年度切替えにおける引継ぎについては、当該年度担当委員長(担当議長)と次年度担当委員長(担当議長)がシステムの引継ぎを行います。

本年度は試験的に当委員会のアカウントにより管理しましたが、2025 年度以降は専用のアカウントを立ち上げ、それを毎年度引き継いでまいります。

引き継ぐ内容 [次年度への引継ぎ事項](#) [引継ぎ詳細](#)

- ①Google アカウントとシステムの内容
- ②事前登録フォームの年度切り替え、管理方法
- ③テストメールによる訓練の方法について [テストメール \(例\)](#)
- ④各種資料の変更 (基本的には年度を変更するのみで支障はありませんが、必要が生じればその他の点も協議の上修正します。)
- ⑤本議案 (参考)

■事業目的に達した点

1. 防災意識の向上

事業を通じて、登録したメンバーや協力企業に対して防災の重要性の認識されるようになりました。特に、ボランティアにあまり参加していなかった層、防災意識があまり高くなかった層に対しても、災害時の行動や準備の重要性を伝えることができ、事前登録により考え方や行動に変化が見られました。

2. 迅速な支援体制の構築

災害発生時に迅速に支援を展開できる体制が確立されました。登録されたメンバーや企業が、災害時にスムーズに連携できる仕組みを構築できたことは、大きな成果です。特に、テストメール配信時に参加が確認できたことで、実際の災害発生時にも同様に機能するであろう体制が整備されました。

■事業目的に達しなかった点

1. 参加者の拡大に課題

防災意識の向上や支援体制の構築には成功したものの、参加者の規模をさらに拡大することには課題が残りました。より多くのメンバーや企業を巻き込むための広報や参加促進の取り組みが十分に行き届かなかった点が挙げられます。

2. 物資提供体制の充実不足

物資の事前登録については一定の成果があったものの、災害発生時に必要となる物資のバリエーションや提供可能な企業数が限られているため、より多くの企業との連携が必要だと感じられました。登録した企業の規模や提供できる物資の種類を増やすことが今後の課題です。